

報告第7号

令和3事業年度

決 算 報 告 書

一般財団法人 対馬地域商社

令和3年度事業経過報告

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大が繰り返され、緊急事態宣言、まん延防止等重点措置の発令により、在宅勤務、不要不急の外出制限、飲食業界の休業や市内にあっては島外への往来自粛など水産物加工販売を生業とする商社にとりましては厳しい年となりました。

このような社会情勢の中、令和3年度の事業計画に基づき経営基盤の強化、業務の効率化、人材育成の重点課題に取り組みました。経営基盤の強化については主要原料の確保に努め、漁協と連携したことで剣先いかの仕入れができ、安定的な売上の確保に繋がりました。業務の効率化については、小あじの加工時間の大幅な短縮により、人件費など経費の削減ができました。その結果、作業工程が午前中で完了し、午後から別の加工作業が可能となりました。また、人材育成については20代、40代の次代を担う職員を採用することができました。

経営状況につきましては、主力商品のあなご、あじ、剣先いかの原料の確保が安定してできたことで売上を確保することができました。中でも剣先いかにあっては従来の一夜干し商品に加え、一本凍結の製造販売が令和2年度を大きく上回る結果となり、目標額の120,000千円には達しませんでした。令和2年度の実績105,620千円を3.2%上回る109,034千円を売り上げることが出来ました。

令和3年度は純利益6,574,090円となったことを報告いたします。

対馬地域商社事業内訳は次のとおりです。

【原料仕入】

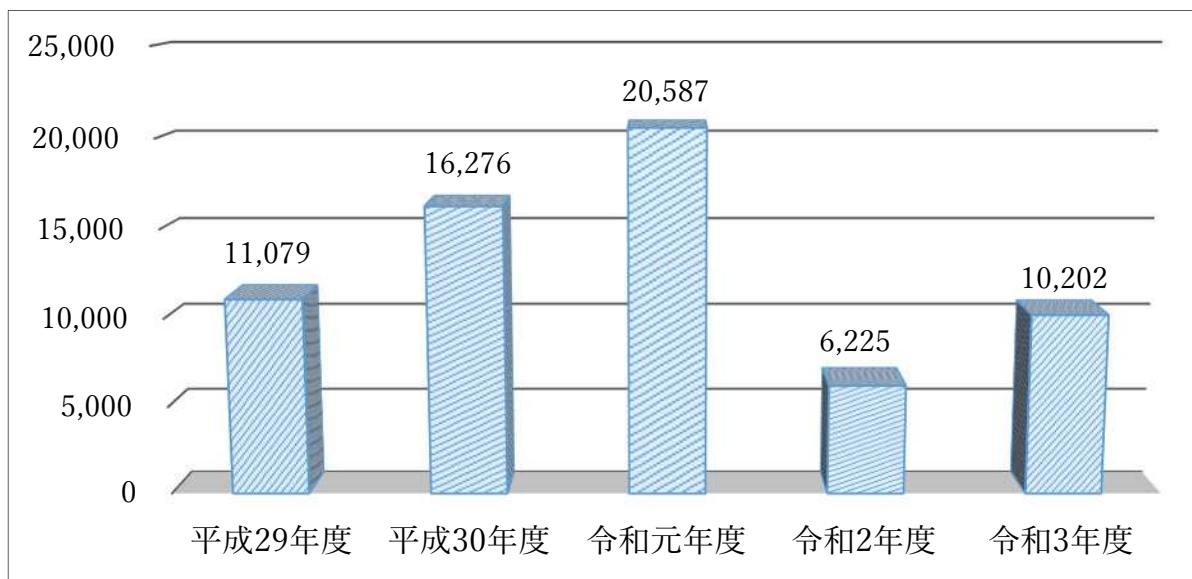
主要原料のあなご、あじ、剣先いかの仕入実績ですが、あなごは在庫調整を行いながら令和2年度の6,225kgに対し63.9%増の10,202kgを仕入れております。あじは需要の状況を見据え、前年度の在庫もあったことから令和2年度の22,915kgに対し12.9%減の19,965kgの仕入に

とどめております。剣先いかは地元漁協との連携により、一本凍結の仕入・販売が本格的にできたことで、令和2年度75,883匹に対して90.0%増の144,191匹を仕入れております。

主要原料の仕入状況は次のとおりです。

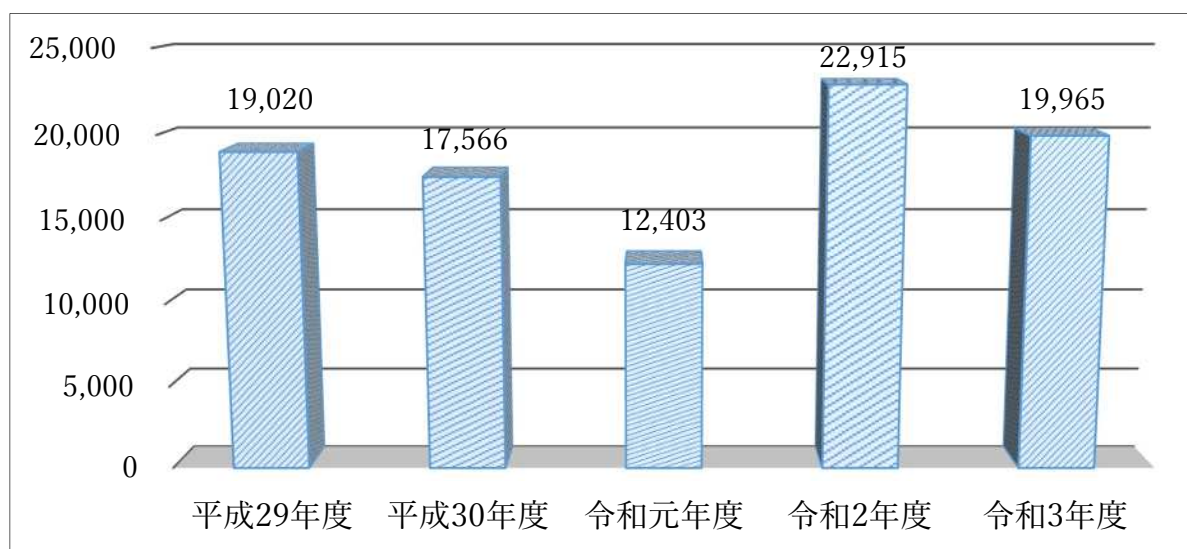
原料別仕入推移状況（あなご）

単位：kg



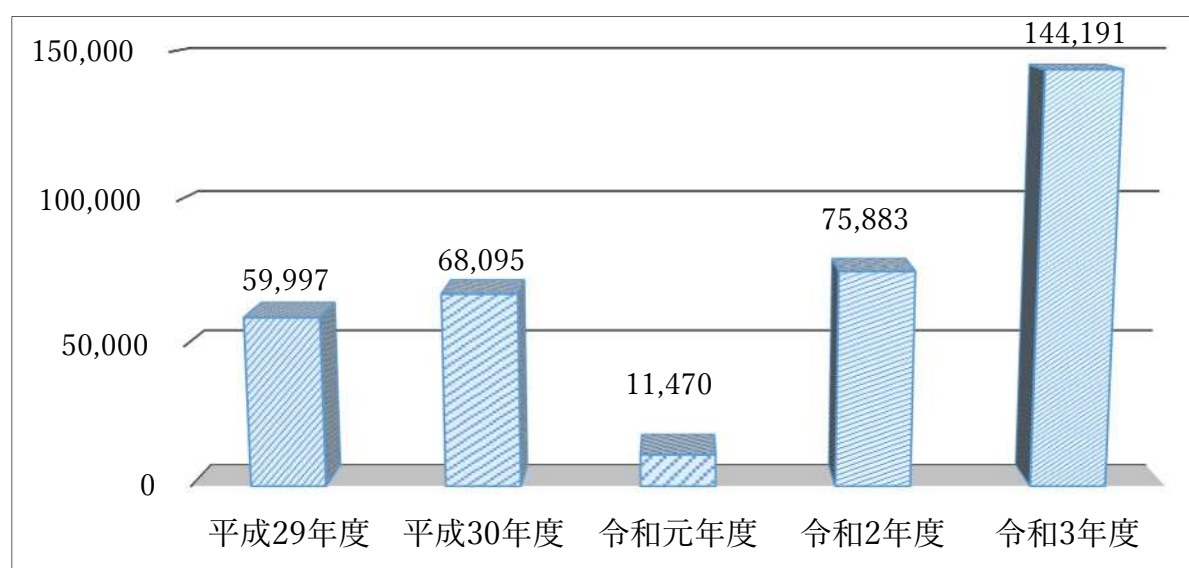
原料別仕入推移状況（あじ）

単位：kg



原料別仕入推移状況（剣先いか）

単位：匹



【売上状況】

売上状況は、加工作業の効率化に努め生産コストの削減による利益幅の改善や主要原料の確保に努め、得意先への販売強化を行ってまいりました。

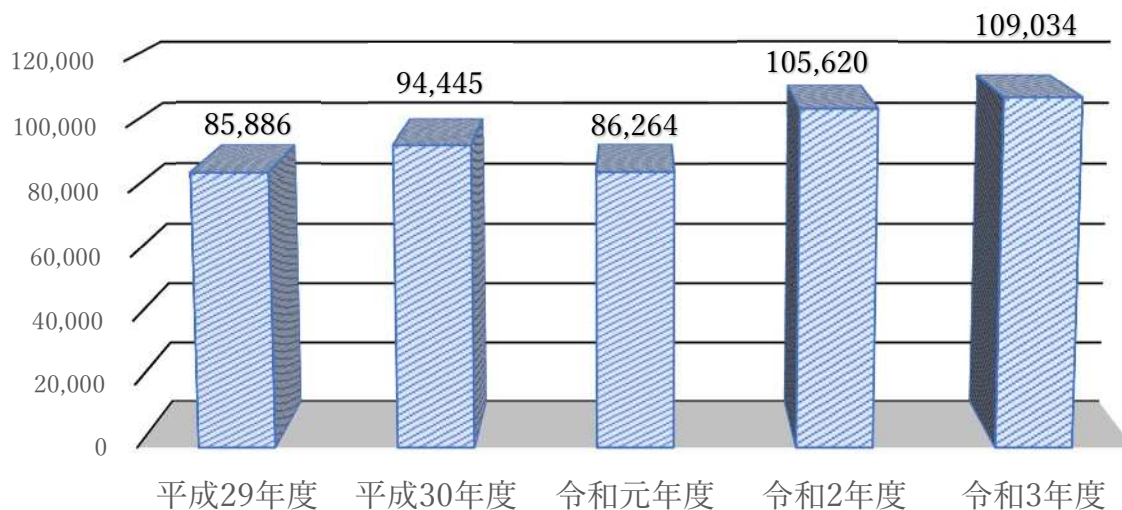
コロナ禍の影響でライフスタイルが変化し、インターネット販売やカタログ通信販売等の宅配サービスでの需要が高まる中で売上を確保することができました。また、剣先いかの安定した原料確保ができたことで一本凍結の販売が大幅に増え、本年度の売上高は109,034千円で対前年度比103.2%という結果になりました。

①加工場製造販売	87,398千円	前年度対比	106.8%
②ギフトふるさと納税業務	8,716千円	前年度対比	86.1%
③とよたま物産店	12,920千円	前年度対比	94.4%

年度別売上状況及び主要原料のあなご、あじ、剣先いかの魚種別売上状況は次のとおりです。

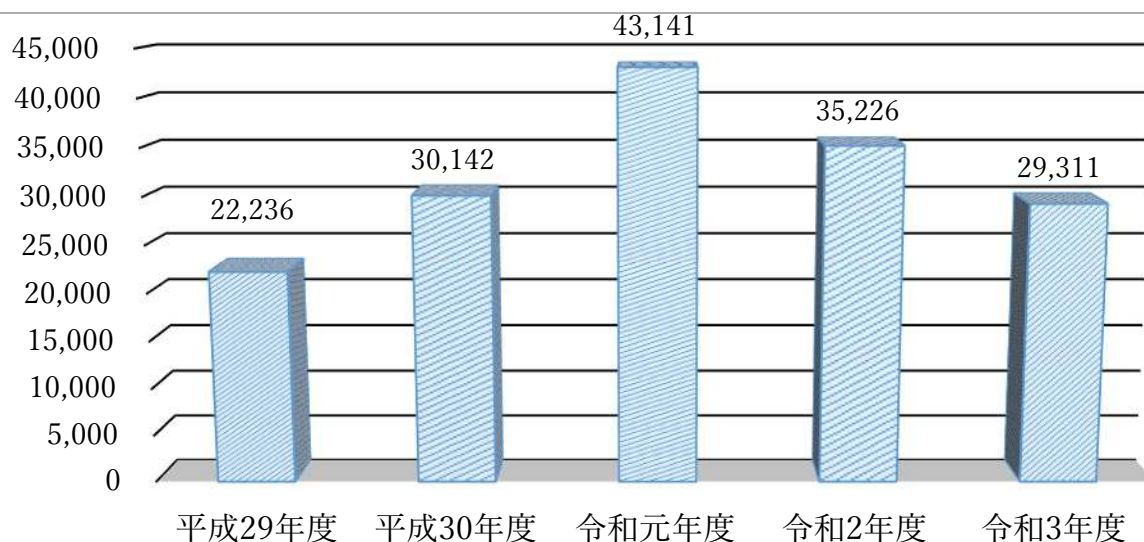
年度別売上推移状況

単位：千円



原料別売上推移状況（あなご）

単位：千円



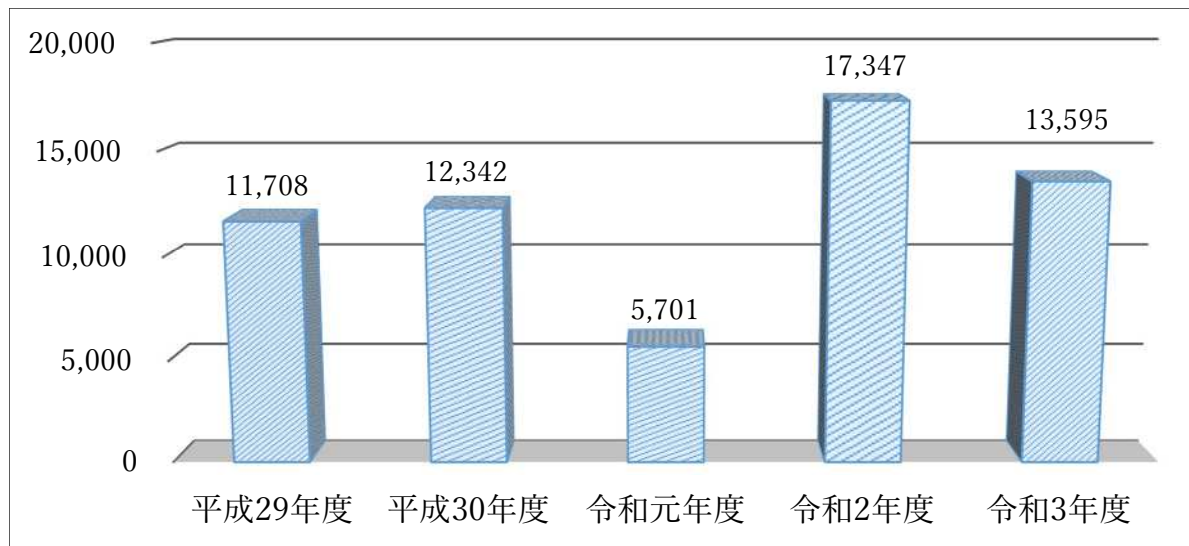
原料別に見るとあなごについては、あなご開き、煮あなごなど定番商品の受注は減少しましたが、商品につきましては鮮度にこだわった加工に高い評価をいただいております。また、「煮あなご膳」の販売が本格的に行うことができたことと

刺身用の商品の評判が上がったことは、今後の販売強化に希望が持てる結果となりました。

令和2年度売上高35,226千円に対して16.8%減の29,311千円となりました。

原料別売上推移状況（あじ）

単位：千円

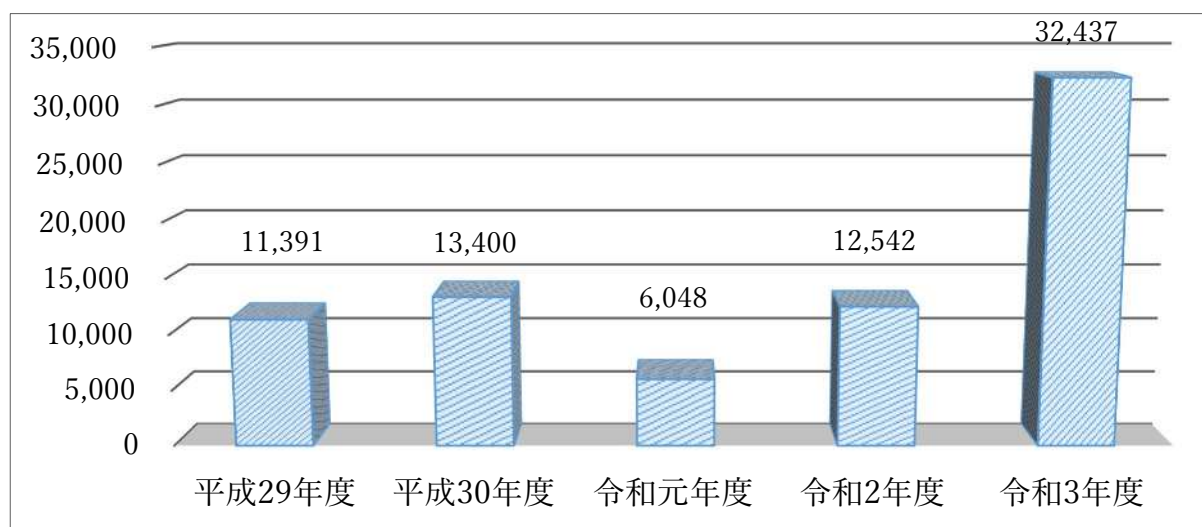


あじ商品につきましては、長崎県漁連帳合の生協などへの納品が主体であります。令和2年度に比べて売上が減少しております。

令和2年度の17,347千円に対し21.6%減の13,595千円の結果となりました。

原料別売上推移状況（剣先いか）

単位：千円



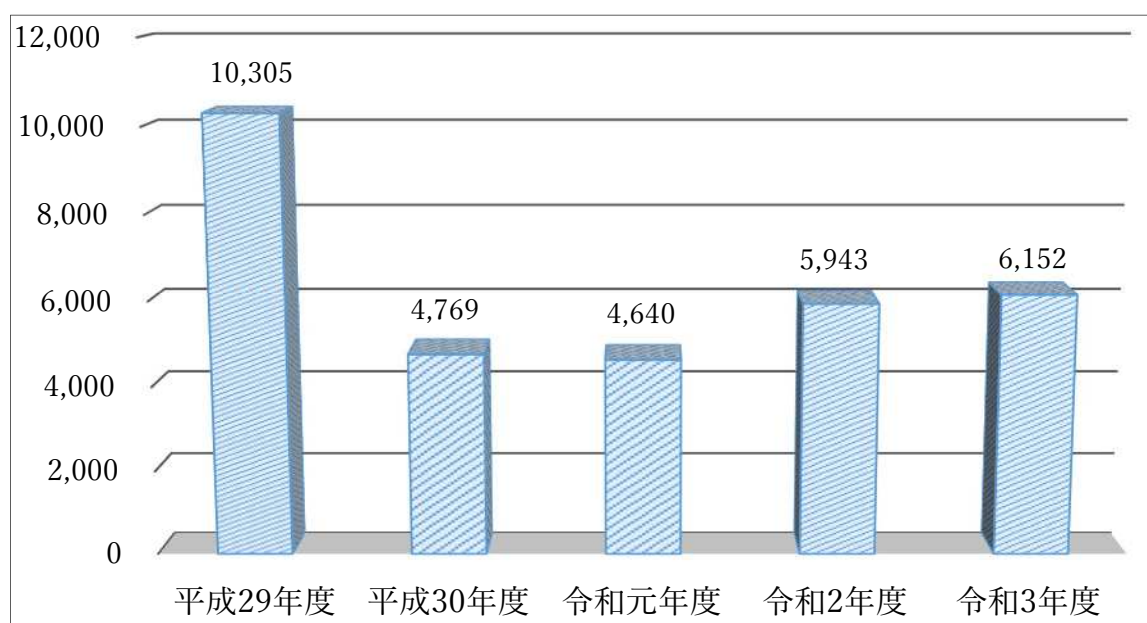
剣先いか商品につきましては、地元漁協との連携により、いか一本釣漁業者と定置網漁業者からの原料の仕入れが順調にできたことで、従来の主力商品であった一夜干しに加え刺身用の一本凍結で大幅に売上を伸ばすことができました。

令和3年度の売上高は一本凍結の売上14,692千円を含め32,437千円となり前年度より158.2%の増となっております。

○ふるさと納税

年度別売上推移（ふるさと納税）

単位：千円



ふるさと納税につきましては、新商品として煮あなご膳セット、煮あなご膳・刺身セット、刺身セットやクエ鍋セットの少量化を図るなど消費者のニーズにあった商品を企画し、対馬市のサイトにて掲載されました。既にあら鍋セットについて高額商品は登録されてはおりますが、納税額1万円台と選定しやすく改良した結果、たくさんの受注をいただきリピーターも増加しております。

また、するめいか一夜干しセットの評判が上がり、売上を伸ばすことができましたが、他社の商品が充実してきたことで納税者が他の返礼品を選択するなど、令和2年度まで人気のあった返礼品の受注が減少しました。

○とよたま物産店

とよたま物産店につきましては、令和3年度にオンラインショップをリニューアルすることで、売上目標を7,000千円とし、全体で20,000千円を目標としておりましたが、閲覧者が増えず売上を上げることが出来ませんでした。地場産品につきましては、「とよたま物産店だより」やオンラインショップのサイトで情報発信を行い販売してきました。対馬産蜂蜜の生産量が減り、仕入が出来ず売上に影響しておりますが、令和3年度の売上12,920千円のうち他社商品6,207千円を取り扱い販売してきました。

主な地場産品としては、米、とんちゃん、椎茸、塩うに、海藻類などの農林水産物を販売しており、令和2年度末より取り組んだ酒類も取り扱っております。

【まとめ】

令和3年度は、剣先いかの仕入・販売が順調であったことから売上を伸ばすことができました。特に原料確保において、地元漁協との連携により計画的な仕入れが可能となり、一夜干しに加え一本凍結の販売を順調に伸ばす結果となりました。また、加工場運営におきましては生産ラインの見直しを行い、小あじ加工時間の大幅な短縮により、生産コストの削減に努めました。

販路開拓につきましては、令和2年度コロナ禍のため参加を自粛しておりました商談会を令和3年度は参加し、長崎、福岡、大阪でPRし、新規取引に繋げることができました。

地場産品につきましても、島外百貨店での販売、商談会でのPRなどを行ってきました。今後は、対馬観光物産協会との連携を図りながら、島外物産展等の出店を継続し、事業展開していくことが必要であると考えております。

貸借対照表
令和4年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	20,690,715	19,507,680	1,183,035
売掛金	7,525,485	4,580,771	2,944,714
未収金	9,339,590	8,261,236	1,078,354
商貯蔵	10,005,865	13,917,650	△ 3,911,785
前払費用	2,619,725	5,669,494	△ 3,049,769
未収還付金	47,781	19,537	28,244
貸倒引当金	2,100	0	2,100
立替金	△ 75,000	△ 45,000	△ 30,000
	0	0	0
流動資産合計	50,156,261	51,911,368	△ 1,755,107
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	5,000,000	5,000,000	0
基本財産合計	5,000,000	5,000,000	0
(3) その他固定資産			
建物	420,371	468,477	△ 48,106
建物付属設備	114,686	133,813	△ 19,127
構築物	1	1	0
機械装置	5	5	0
車輛運搬用具	0	1	△ 1
工具器具備品	11,316	11,459	△ 143
その他固定資産合計	546,379	613,756	△ 67,377
固定資産合計	5,546,379	5,613,756	△ 67,377
資産合計	55,702,640	57,525,124	△ 1,822,484
II. 負債の部			
1. 流動負債			
買掛金	1,751,940	2,337,890	△ 585,950
短期借入金	9,000,000	13,500,000	△ 4,500,000
未払り	1,806,263	2,086,159	△ 279,896
未払法人税等	364,519	307,547	56,972
未払消費税等	81,900	3,382,900	△ 3,301,000
	1,626,000	1,412,700	213,300
流動負債合計	14,630,622	23,027,196	△ 8,396,574
負債合計	14,630,622	23,027,196	△ 8,396,574
III. 正味財産の部			
地方公共団体助成金	0	0	0
指定正味財産合計	5,300,000	5,300,000	0
(うち基本財産への充当額)	(5,000,000)	(5,000,000)	0
2. 一般正味財産	35,772,018	29,197,928	6,574,090
正味財産合計	41,072,018	34,497,928	6,574,090
負債及び正味財産合計	55,702,640	57,525,124	△ 1,822,484

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
売上高	109,033,604	105,620,508	3,413,096
受取入金	16,549,190	23,900,142	△ 7,350,952
受取地方公共団体補助金	16,549,190	23,900,142	△ 7,350,952
出雑	0	0	0
雑収入	754,636	805,971	△ 51,335
受取利息	394	662	△ 268
受取手数料	694,193	700,610	△ 6,417
その他の雑収入	60,049	104,699	△ 44,650
経常収益計	126,337,430	130,326,621	△ 3,989,191
(2) 経常費用			
事業費	110,309,897	106,662,469	3,647,428
仕給料	56,888,855	53,728,132	3,160,723
給法福利厚生費	26,441,125	23,085,962	3,355,163
福利厚生費	4,312,566	4,082,093	230,473
厚福交信	82,237	63,373	18,864
交際費	51,349	44,996	6,353
旅費	2,503,923	1,154,464	1,349,459
広告費	141,060	4,079,009	△ 3,937,949
通運費	400,391	459,916	△ 59,525
運賃	4,050,821	4,711,416	△ 660,595
減価償却費	67,376	535,346	△ 467,970
消耗品費	1,403,263	2,576,367	△ 1,173,104
修繕費	1,020,060	1,371,900	△ 351,840
水道光熱費	37,521	187,506	△ 149,985
車両経入料	9,300,398	7,663,618	1,636,780
り地損料	703,142	557,510	145,632
租税公課	667,130	222,253	444,877
負担金	240,000	220,000	20,000
支払手数料	245,928	156,500	89,428
雑損額	121,006	132,356	△ 11,350
棚卸資産の増減	80,000	85,000	△ 5,000
貸倒引当金の増減	928,917	898,947	29,970
管料	132,386	155,401	△ 23,015
給法福利厚生費	49,703	52,769	△ 3,066
会通減消水車り特	410,739	418,635	△ 7,896
定寄付	30,000	19,000	11,000
手利生	1	0	1
福厚議信償却品熱	7,682,488	7,788,497	△ 106,009
議信償却品熱	5,491,104	5,304,336	186,768
信償却品熱	1,130,216	829,811	300,405
償却品熱	9,989	0	9,989
品熱	0	4,073	△ 4,073
熱	17,682	25,470	△ 7,788
経入付	0	392,000	△ 392,000
付	250,167	213,617	36,550
料	35,653	42,199	△ 6,546
金	18,774	20,429	△ 1,655
金	221,000	411,462	△ 190,462
金	100,000	100,000	0

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
租 税 公 課	10,200	54,100	△ 43,900
負 担 金	129,000	79,000	50,000
支 払 手 数 料 費	196,562	225,709	△ 29,147
雑 費	72,141	86,291	△ 14,150
経常費用計	117,992,385	114,450,966	3,541,419
評価損益等調整前当期経常増減額	8,345,045	15,875,655	△ 7,530,610
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	8,345,045	15,875,655	△ 7,530,610
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0
固 定 資 産 圧 縮 損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減	8,345,045	15,875,655	△ 7,530,610
法人税、住民税及び事業税	1,770,955	3,382,998	△ 1,612,043
当期一般正味財産増減額	6,574,090	12,492,657	△ 5,918,567
一般正味財産期首残高	29,197,928	16,705,271	12,492,657
一般正味財産期末残高	35,772,018	29,197,928	6,574,090
II. 指定正味財産増減の部			
受 入 補 助 金	0	0	0
受入地方公共団体助成金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	5,300,000	5,300,000	0
指定正味財産期末残高	5,300,000	5,300,000	0
III. 正味財産期末残高	41,072,018	34,497,928	6,574,090

財産目録
令和4年3月31日現在

収益事業等会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)			
現金	手元保管	運転資金として	217,451
預金	普通預金		20,473,264
	十八親和1		14,471,389
	十八親和2		1,440,953
	十八親和3		20,222
	九州信漁連 統括支店		2,581,475
	対馬農協		57,895
	ゆうちょ銀行		1,687,523
	福岡郵便貯金センター		213,807
売掛金			7,525,485
未収金			9,339,590
商品			10,005,865
貯蔵品			2,619,725
前払費用			47,781
立替金			0
貸倒引当金			△ 75,000
未収還付法人税等			2,100
流動資産合計			50,156,261
(固定資産)			
基本財産			
定期預金			5,000,000
その他固定資産			
建物			420,371
建物附属設備			114,686
構築物			1
機械装置			5
車両運搬具			
工具器具備品			11,316
固定資産合計			5,546,379
資産合計			55,702,640
(流動負債)			
買掛金			1,751,940
短期借入金			9,000,000
未払金			1,806,263
三菱食品			11,405
ヤマト運輸(株)			33,461
九州電力			752,684
対馬市水道局			29,530
NTT西日本			14,877
対馬農協			1,980
長崎県社会保険事務所			373,182
リコー			210,100
國分石油			12,492
斉藤商事			8,364
対馬システム			22,770
土田物流			9,570
アスクール			48,017
博多海陸運送(株)			53,361
モノタロウ			6,593

収益事業等会計

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額
容器スタイル			71,489
佐川急便			146,388
預り金			364,519
社会保険料・厚生年金保険			364,519
未払法人税等			81,900
未払消費税等			1,626,000
流動負債合計			14,630,622
負債合計			14,630,622
正味財産			41,072,018

監査結果報告書

一般財団法人対馬地域商社定款第23条1項の規定により
監査した結果、その内容は適当と認めます。

一般財団法人 対馬地域商社

代表理事 國分利雄様

令和4年5月20日

監事 日高寿



監事 平山秀樹

